

## J R 芸備線の状況等に関するヒアリング結果について

### 1 要旨

2月1日（水）に岡山市内で開催された J R 芸備線の状況等に関するヒアリングの結果について報告する。

### 2 ヒアリングの内容

#### (1) J R 西日本からの説明

- ・ 芸備線の利用状況や社会環境の変化のほか、鉄道事業の収入や、一部の経営状況について説明がなされた。※説明資料は「別紙」のとおり
- ・ 各駅間の輸送密度について、今までに公表されていない庄原・新見市域の 1 駅区間ごとの輸送密度情報等もあったが、本県が求めている「全路線収支の開示」や、それを踏まえた「内部補助の持続可能性」についての説明は無かった。

#### (2) 国土交通省からの情報提供

- ・ 関係法改正・予算制度の検討状況について、国が主催する「再構築協議会」の枠組みのほか、「社会資本整備総合交付金」による支援制度などの説明があった。

#### (3) 質疑応答

説明者	主な質疑	
	自治体の意見・質疑	J R 西日本の回答
J R 西日本	(広島県) 全路線の収支開示・内部補助の持続可能性などをしっかり説明いただくことが、地域への説明にもつながる。そういう意味で、今回はその説明がなかったことは残念。	全路線収支については今回開示していないが、今後、開示の必要性を議論させていただくとともに、2,000 人未満の数字も半年かけて算定したものであり、実務的にも出せるかどうかということも確認したい。 赤字だからではなく、鉄道特性が発揮できていないところを維持するか、違うやり方にするかを議論したいのであって、事業構造どうこうとは違う話ではないかと考えている。
	(岡山県) 2,000 人未満の線区について、3 年平均でデータを開示しているが、単年度で出すことや、費用の詳細を開示いただくことは可能か。改善点を把握し、利用促進につなげていきたい。	いずれも可能だと考えている。既に自治体の求めに応じて開示している線区もあるので、今後検討したい。
国土交通省	(時間の関係で質疑なし)	—

### 3 今後の対応

今回は、今回の内容を踏まえて関係者で協議を行う。